

第1章 河川の概要

第1章 河川の概要

本県の周囲には県境をなす山地が続いているため、降った雨はほとんどが琵琶湖に注ぎ、瀬田川、淀川を通じて大阪湾に流出しています。その他、岐阜県境、福井県境に木曾川水系、北川水系の河川がありますが、いずれも一級水系です。このため、本県の法河川には、二級河川はなく、一級河川と河川法を準用する準用河川に分かれます。

淀川水系は、三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良の2府4県にまたがり、その流域面積は8,240km²(幹線流路延長は75.1km)ですが、このうち、琵琶湖流域は3,848km²であり、淀川全体の46.7%を占めています。県の面積に占める琵琶湖の流域面積は、95.8%で、瀬田川への流入を含めた、県の面積に占める淀川の流域は、98%となっています。

本県の一級河川は、直轄区間15河川79km、指定区間507河川(うち4河川は湖沼)2,259kmで、琵琶湖には、120本の一級河川が流入しています。

本県は、琵琶湖を中心にして平地が広がり、その外側を分水嶺が取り囲む同心円状の構造をしている地勢から、流路延長は野洲川、安曇川の2河川を除くと全てが50km未満と短く急峻で、洪水が出水しやすく、また、渇水被害に見舞われやすいといった特徴があります。

また、水源山地の地質条件と相まって、大量の土砂流出のため、天井川が多いのも特徴で、代表的なものに草津川、家棟川、姉川(高時川)、百瀬川などがあり、これらの河川の下を国道や河川などが隧道・カルバートにより横断しています。

地域的に見ると、湖南・湖東地方では野洲川、日野川、愛知川等の大河川が東西方向に幹線を延ばし、湖北地方では姉川、高時川、余呉川等の大河川が南北方向に幹線を延ばしています。湖西地方は、大きな河川としては安曇川だけであり、残りは比良山地から流路の短い小河川が東西方向に分布しています。

琵琶湖に流入する一級河川120河川のうち、流路延長が5km未満(または流域面積が5km²)の小規模な河川は、流入河川の約7割を占めています。県の土地利用・交通網の特徴として、琵琶湖線、湖西線、北陸本線の鉄道網や国道等幹線道路が、琵琶湖から概ね5km以内に位置し、その周辺に市街地が発達しているため、これらの小規模な河川も本県にとって重要な地域の排水を担っています。

本県の水系別一級河川延長総括表は、滋賀県のホームページを参照してください。

ホーム > 組織から探す > 土木交通部 > 河港課
<http://www.pref.shiga.jp/h/kako/index.html>

